






取 扱 説 明 書

レシート・納品書などは大切に保存してください

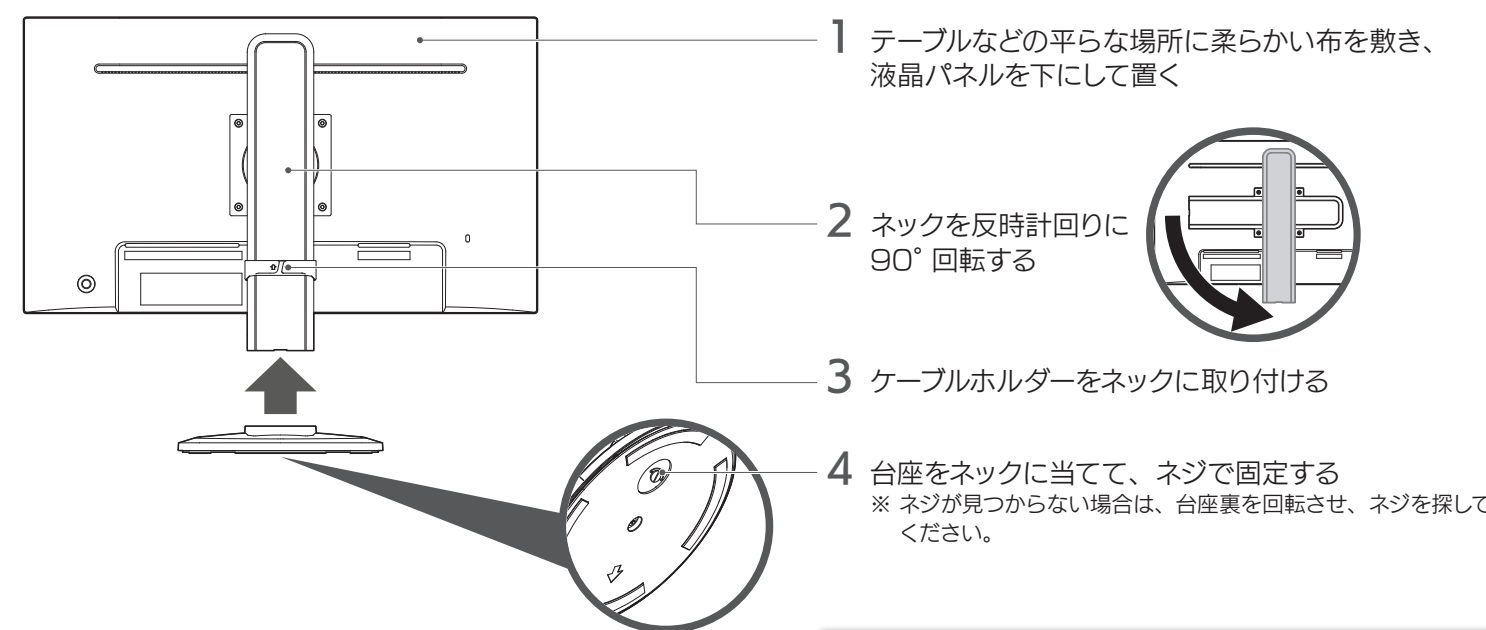
修理の際には、購入日を証明するものが必要です。

表面	●添付品を確認する ●台座を取り付ける ●つなぐ ●使う	●画面の位置・向きを調節する ●安全のために
裏面	●使用上の注意 ●困ったときには ●アフターサービス	●ハードウェア保証規定 ●液晶ディスプレイの回収・リサイクル

添付品を確認する

- 台座  □ HDMI ケーブル  □ 電源ケーブル 
- ケーブルホルダー  □ DisplayPort ケーブル  取扱説明書 (本書)

台座を取り付ける



1 テーブルなどの平らな場所に柔らかな布を敷き、液晶パネルを下にして置く

2 ネックを反時計回りに90°回転する

3 ケーブルホルダーをネックに取り付ける

4 台座をネックに当てて、ネジで固定する
※ ネジが見つからない場合は、台座裏を回転させ、ネジを探してください。

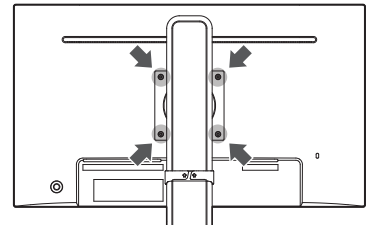
取り付け時・調節時のご注意

- 液晶パネル (表示面) が故障または破損する原因になります。
- 本製品を床などに落とさない
 - 液晶パネルを傷つけない
 - 液晶パネルを手で押さえない

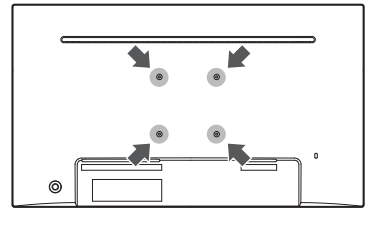
モニターアーム (VESA) に取り付ける

- 固定用ネジ:
M4×10mm
(モニターアームの金具の厚みにより異なる)
- 本製品質量:
約4.8kg (ネック・台座除く)
- ネジピッチ:
100mm
- 締付けトルク:
80~100N・cm (8~10kgf・cm)

ネックを取り外す

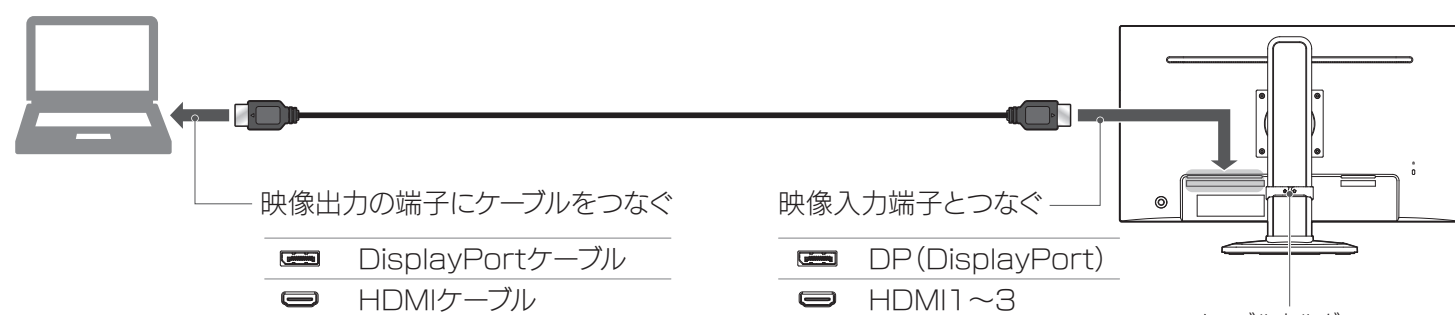


モニターアームに取り付ける



つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ



映像出力の端子にケーブルをつなぐ

- DisplayPortケーブル
- HDMIケーブル

映像入力端子とつなぐ

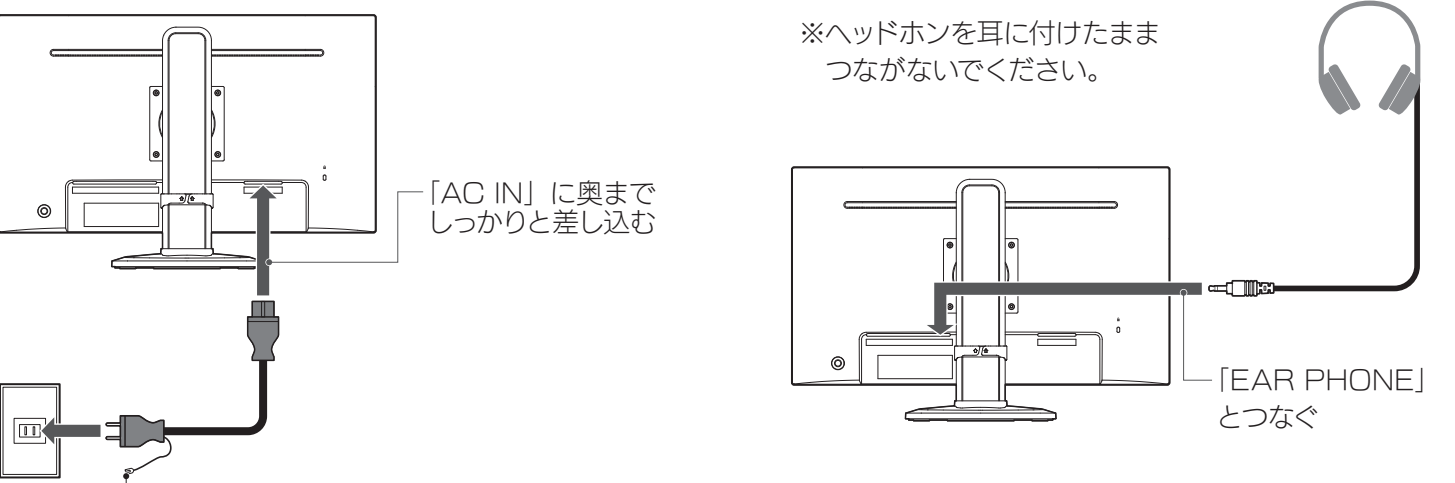
- DP (DisplayPort)
- HDMI1~3

ケーブルホルダーを使うと、ケーブルがすっきりまとまります。

映像入力端子と解像度

映像入力端子	最大解像度
DP (DisplayPort)	2560x1440 (60Hz)
HDMI1~3	2560x1440 (60Hz)

2 電源コンセントとつなぐ



「AC IN」に奥までしっかりと差し込む

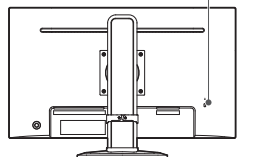
「EAR PHONE」とつなぐ

ご注意: アースについては以下を守る

- 必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
- 電源プラグを抜いてから、アースを外す
守らないと、発火・感電の原因になります。

盗難対策をする

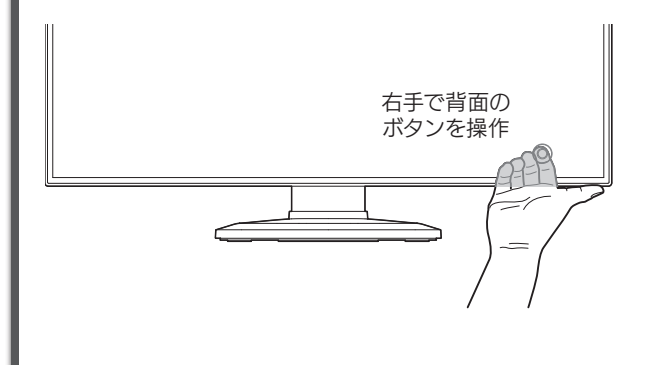
本製品には、 Kensingtonセキュリティスロット (錠) があります。盗難対策に Kensington 製ロックを取り付けられます。



使う

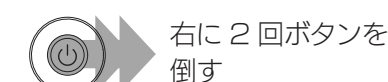
ボタンの操作方法

本製品は、すべて1つのボタンで操作します。ボタンは本製品の背面右下にあります。右手を背面に回し、人差し指などで操作します。ボタンは押すだけでなく、上下左右に倒すことができます。



右手で背面のボタンを操作

詳細な設定をする



スタートメニューが開きます。



メインメニューでは、詳細な設定ができます。

お気に入り機能

本製品には、よく使う設定項目を「お気に入り」として登録する機能があります。「お気に入り」として登録した設定項目はスタートメニューに表示され、メインメニューを開くことなく呼び出すことができます。

◆お気に入りを登録するには
スタートメニューからメインメニューを開き、登録したい項目で右に3秒間ボタンを倒し続けます。

メニュー操作を無効化する(メニューロック)

上に3秒間ボタンを倒し続けます。解除も同様の操作でできます。

設定については、『詳細ガイド』をご覧ください

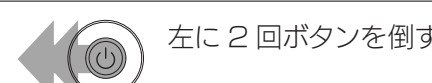
スタートメニューを開くと、本製品の取扱説明書や Q&A などを見られる Web ページへの QR コードが表示されます。開いた Web ページから『詳細ガイド』をご覧ください。

電源ランプについて

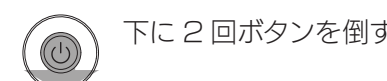
青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯*	電源切

*設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。

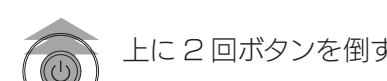
表示する映像を切り換える



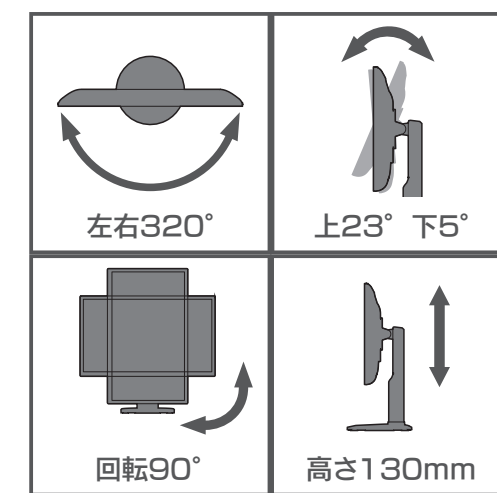
音量を調節する



画面の明るさ(輝度)を調節する



画面の位置・向きを調節する



●ケーブルは、はさんだり、引っ張ったりしないように、余裕を持って取り回してください。

●回転する際は、以下のようにしてください。

1. ケーブルホルダーからケーブルを外す
2. 高さを最も高くなるように調節する
3. 液晶パネルを一番上に向ける(最大まで後ろに傾ける)
4. ゆっくりと時計回りに90°回す

調節時のご注意

手や指をはさまないように注意してください。

パソコンの映像を回転させる

Windows

画面回転アプリ「クルッとな」をお使いください。
<http://www.iodata.jp/lib/product/etc/4242.htm>

OS X

- ① 「システム環境設定」を開き、[ディスプレイ] をクリックする。
- ② 「回転」を設定する。
※ 「回転」がない場合、縦に表示できません。

メニューの表示について

本製品はセンサーで回転を感知し、メニューが自動で回転します。
※ メニューが回転しない場合は、メインメニューを開いて [メニュー表示] → [回転] が [自動] に設定されているかをご確認ください。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⊘ 禁止

この記号は、禁止を示しています。

⚠ 指示を守る

この記号は、指示を守らなければならないことを示しています。

⚠ 警告

⊘ 本製品を修理・分解・改造しない

発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⊘ 雷が降り出したら、本製品や電源コードには触れない

感電の原因になります。

⊘ 本製品をぬらしたり、水気が多い場所

で使わない
水や洗剤などが本製品にかかる、隙間からしみ込み、発火・感電の原因になります。

●お気遣い

●雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する

●水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上に置かない

●万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない

⊘ 添付の電源コードは、他の機器につな

げない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。

⊘ 電源コードは、添付品または指定品の

もの以外を使わない
電源コードから発熱したり、発火の原因になります。

⊘ じゅうたん、スポンジ、ダンボール、

発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

⊘ ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでみてもゆるみがある場合にはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

⚠ テーブルタップを使用する時は定格容量

以内で使用すること
テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⊘ 故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合は、必ずずいている機器から取り外してください。

そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

⚠ コンセントまわりは定期的に掃除する

電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

⊘ 液晶パネルから漏れた液体 (液晶) には触れない

漏れた液体は、すぐに拭き取ってください
液晶パネルの表示面を破損し、中の液体 (液晶) が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

⚠ 注意

⚠ 眼精疲労を防ぐため、以下を守る

ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ画面の明るさ、書類およびキーボード面における明るさや周辺の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間から1.5時間から5分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

⚠ ディスプレイの角度などを調節時に、指をはさまないように気をつける

電源を入れた状態で、あお向け、横たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火の原因になります。

⊘ 人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上の注意

■画面の焼き付きを防ぐために

- 同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。
- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法

- 本製品について汚れた箇所を落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。
- 液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくことで液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■バックライトについて

- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラチラしたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。
- ※ご自分で交換は絶対に行わないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

- 液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

■有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品(バックライト、アルミ電解コンデンサーなど)が含まれています。
- 有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境(湿度など)等の条件により異なります。
- 本製品は、一般家庭やオフィスでの使用を想定して設計されていますので、それ以外の環境でご使用される場合は、寿命が短くなる場合があります。

■連続使用について

- 本製品は、24時間連続使用を前提とした設計ではありません。
- 有寿命部品の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご利用は避けてください。

■その他

- 直射日光が当たる場所で使用・保管しないでください。変形や変色の原因になります。
- お使いにならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- 台座を持って本製品を移動させないでください。
- 液晶パネルの周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。液晶パネルが破損する恐れがあります。
- 液晶パネルの表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
- 液晶パネル上に滅点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.999%以上の有効画素と0.001%の画素欠けや輝点をもつことによるもので故障ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

困ったときには

弊社サポートページをご確認ください

<http://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>



音が出ない

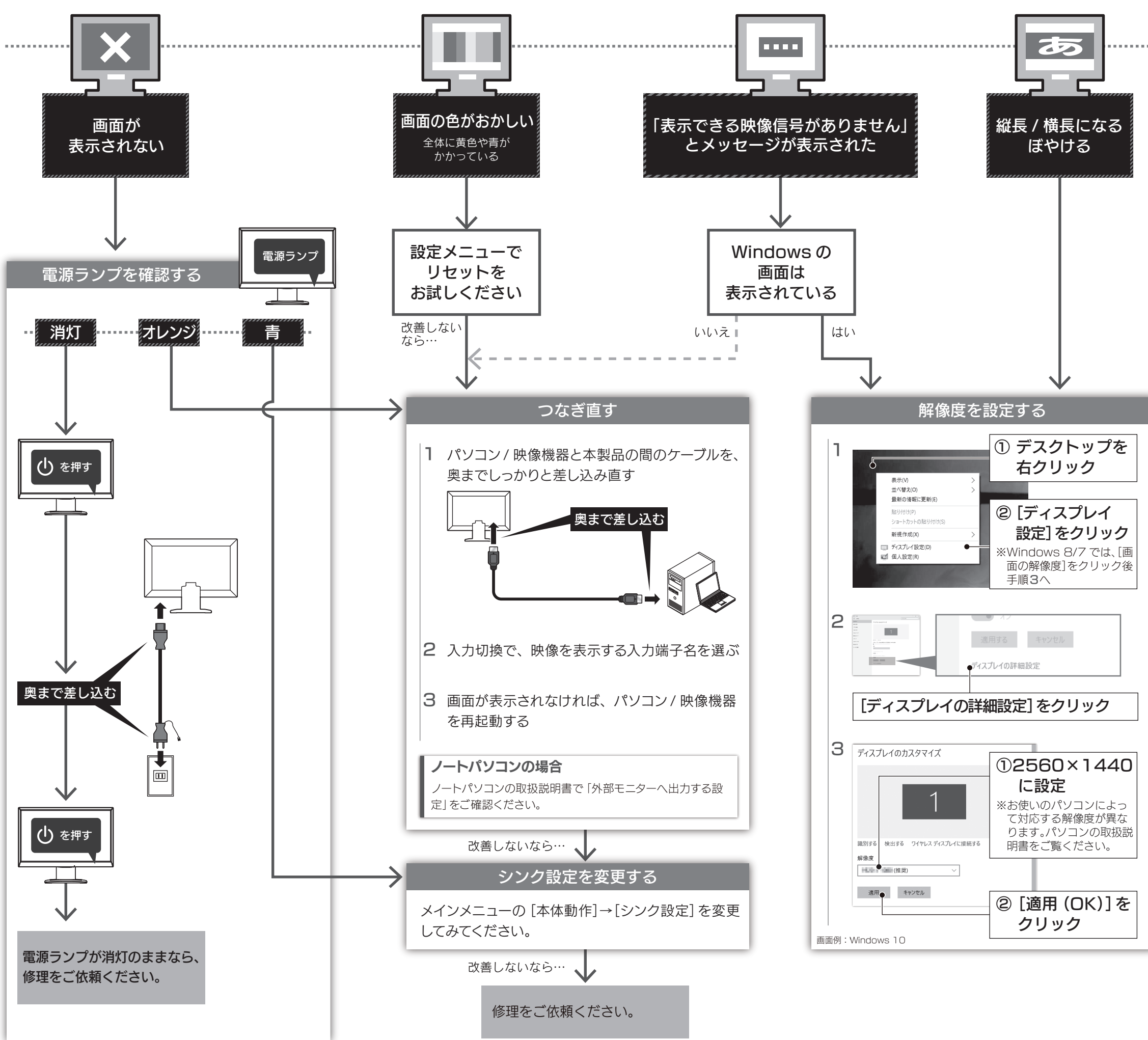
●パソコンでお使いの場合

- Windows
 - ① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
 - ② [再生デバイス]をクリック
 - ③ 本製品を選び、[規定値に設定]をクリック
- macOS
 - ① システム環境設定の[サウンド]をクリック
 - ② [出力]タブをクリック
 - ③ 本製品を選ぶ

- 機器側の音量を確認してください。
- 本製品の音量を確認してください。
- ヘッドホンをつないでいませんか？

ドット抜けがある(赤や緑などの動かない点がある)

液晶パネルが0.001%未満の画素欠けや輝点を持つことによるもので故障ではありません。修理交換対象になりませんので、ご了承ください。



アフターサービス

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を終了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以上に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<http://www.iodata.jp/privacy.htm>)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

保証期間
5年間

お問い合わせ方法

弊社サポートページをご確認ください

▼弊社サポートページ
<http://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>



それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話 ▶ 050-3116-3019

※受付時間 9:00~17:00 月~日曜日(年末年始・夏期休業期間をのぞく)

インターネット ▶ <http://www.iodata.jp/support/>

※ご利用いただく情報
▷製品情報(製品名、シリアル番号など)、PCや接続機器の情報(型番、OSなど)

修理を依頼する方法

以下を梱包し、修理センターへお送りください

- 本製品
- レシート、納品書など購入印を示すもの
- メモ
・名前・住所・TEL/FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合は、有料修理となる場合があります。

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいたから、修理いたします。

【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元にて控えておいてください。

【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はこちらから印刷できます)。

<http://www.iodata.jp/support/after/>

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ日より5年間(ただし、本製品の使用時間が90,000時間を超えないこと)無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品、消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

- 1) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込まれた使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどには本製品を使用しないこと、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内のみにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 4) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・喪失等については、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 5) 弊社に故障または運送損失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 6) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。
- 7) 合理的な使用法に反するお取り扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等を行った場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11) その他弊社が保証内容の対象外と判断した場合

液晶ディスプレイの回収・リサイクル

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様が不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・リサイクルのご案内や料金のお見積もりをおこなっております。詳細は、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

http://www.iodata.jp/recycle_h/

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。弊社が無料で回収・再資源化いたします。お申し込みについては、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

http://www.iodata.jp/recycle_k/

【VCCI規格について】

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。VCCI-B

【J-Mossについて】

この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法(JIS C 0950)」、「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク・ガイドライン」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情報は以下をご覧ください。<http://www.iodata.jp/jmoss/>

【ユーザー登録はこちら】

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。(例: ABC1234567ZX)

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を複製、複製、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込まれた使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどには本製品を使用しないこと、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。

3) 本製品は日本国内のみにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。

4) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・喪失等については、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。

5) 弊社に故障または運送損失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。

6) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

7) 合理的な使用法に反するお取り扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合

8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等を行った場合

9) 弊社が寿命に達したと判断した場合

10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合

11) その他弊社が保証内容の対象外と判断した場合

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【マニュアルアンケートはこちら】

よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

